

Closure report 2026

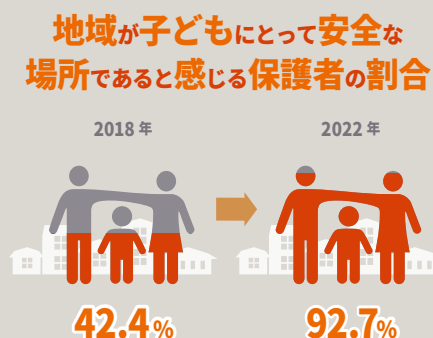
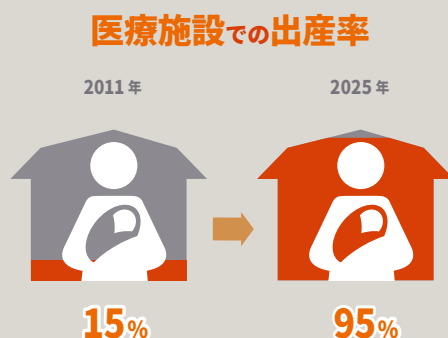
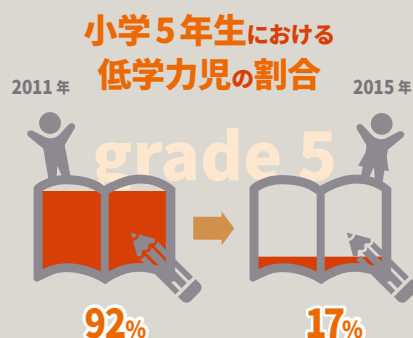
終了報告書

ベトナム社会主義共和国
トアンザオ地域開発プログラム
VNM-194438 (2010 年～2026 年)



ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました



Education



教育

子どもたちの
学びと成長を支える

地域では就学前教育の重要性に対する認識が低く、少数民族の言葉を日常的に使う子どもの多くは、ベトナム語を十分に理解できないまま小学校へ入学していました。そのため授業についていけず学習が遅れたり、貧困や早期結婚などを背景に学校を途中でやめてしまったりする子どもも少なくありませんでした。また教育の質が低いことも課題でした。ワールド・ビジョンは、家庭訪問を通じて保護者に教育の重要性を伝えるとともに、少数民族の子どもたちのベトナム語習得や教員の指導力向上を支援しました。また、校舎や教室など学習環境の整備や読書活動の推進にも取り組んだ結果、子どもたちはより良い環境で学べるようになり、学習の遅れや中途退学の改善につながっています。



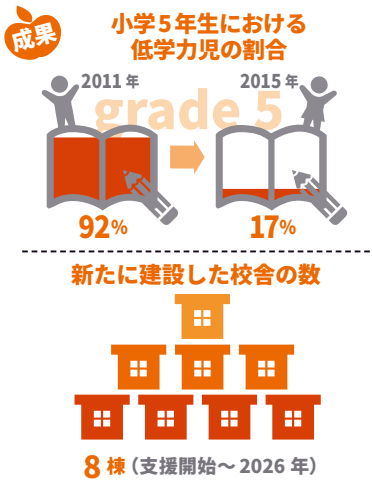
支援前

竹や木で造られた簡素な教室で学ぶ子どもたち



支援後

新たに建設された教室で学ぶ子どもたち



Livelihood



生計向上

自立した暮らしを
支える活動

支援開始当初は多くの世帯がトムロコシやキャッサバなどの農業に依存していましたが、収入は不安定で、1日あたり約2ドル以下で暮らす貧困率は60～80%に達していました。食料が不足すると食事の回数や量を減らしたり、家畜や生活に必要なものを売ったりして暮らしを維持するしかありませんでした。ワールド・ビジョンは、各家庭が少額ずつお金を持ち寄り、必要なときに借入れができる貯蓄グループの設立・運営を支援したほか、極度の貧困状態にある世帯が収入を増やしていけるよう、家畜の提供や農業技術研修などを実施しました。その結果地域の貧困率は大きく改善し、農業や収入を増やすために必要な活動資金を自分たちで管理・運営できるようになりました。



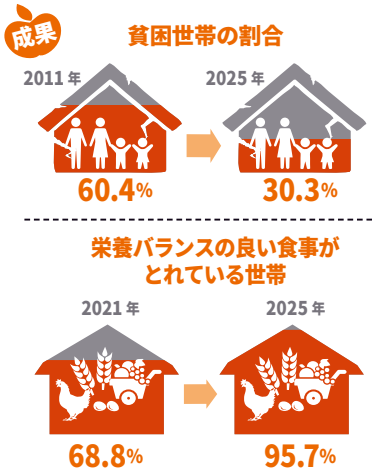
支援後

家計管理と貯蓄に関する研修の様子



支援後

支援によって提供された家畜の世話をする親子



Health & Nutrition



保健・栄養

多角的な支援で
母子の健康を守る

地域では、保健や栄養に関する知識が十分ではなく、5歳未満の子どもの栄養不良が深刻な状況でした。また、多くの母親が自宅で出産していたことから、新生児死亡率も高い状況でした。さらに、衛生的なトイレを持つ世帯は15%にとどまり、衛生環境の改善も必要とされていました。こうした課題を改善するため、母親や保護者を対象に栄養改善や病気の予防に関する研修を実施したほか、保健施設や水衛生設備を整備し、安全な水や保健サービスへのアクセス向上に取り組みました。その結果、医療施設で出産する母親が増え、新生児死亡率は大きく減少しました。また、子どもの栄養不良が減少し、衛生的なトイレを利用できる世帯も増加するなど、地域全体の保健・栄養状況は大きく改善しました。



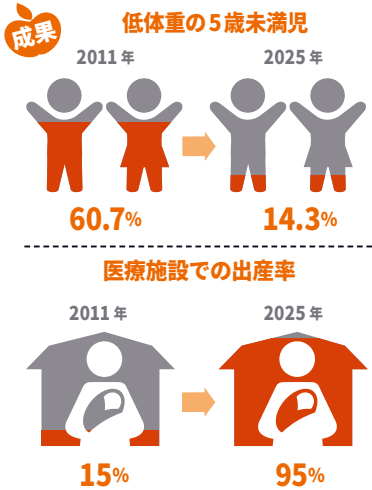
支援前

栄養不良と診断された赤ちゃん



支援後

栄養価の高い食事の作り方を学ぶ母親たち



Child Protection



子どもの保護

子どもたちが安心して
成長できる地域づくり

支援開始当初は、子どもへの体罰や暴力が家庭や学校で広く見られ、早婚や人身取引のリスクも高い状況でした。また、子どもの権利や保護に関する保護者・地域住民の知識が乏しく、子どもたちが自分自身を守る力も十分ではありませんでした。これらの課題に対し、子どもクラブの活動を通じたライフ・スキル(日常生活で生じるさまざまな問題に対処するために必要な能力)の習得、保護者向けの暴力に頼らない子育て研修など、地域全体での啓発に取り組みました。その結果、体罰を容認する保護者の割合が大幅に減少し、子どもへの暴力被害も減少しました。また、子どもたち自身も地域の課題解決に主体的に関わるなど、前向きな変化が見られています。



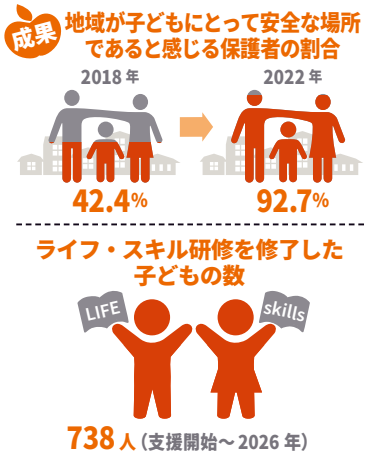
支援前

柵のない池のほとりで遊ぶ子どもたち。以前は水難事故が多発していました



支援後

「水難事故・怪我の防止」をテーマにした絵画コンテストに参加する子どもたち



マネージャーよりごあいさつ



トアンザオ地域開発
プログラムマネージャー
グエン・ティ・
フォン・ザン

2010年に支援活動を開始した当時、地域では、子どもの栄養不良や高い貧困率など、多くの課題がありました。こうした状況を改善するため、ワールド・ビジョンは地域の人々と協力しながら活動を進めてきました。その結果、子どもの栄養状態や教育環境が大きく改善し、子どもたちは自分の意見を伝え、地域づくりに参加できるようになりました。また、各家庭の収入も増え、子どもたちがより安心して成長できる環境が整いました。皆さまのご支援は、子どもたちの健やかな成長を支え、地域全体に大きな変化をもたらしました。温かく継続的なご支援をお寄せくださったことに、チャイルドとその家族、地域を代表し、心から感謝いたします。

少数民族が暮らす地域で
言葉がひらく未来



ベトナム語を学ぶ課外活動に参加する少数民族の子どもたち

トアンザオ地域には、複数の少数民族が独自の文化や言語を守りながら暮らしています。活動開始当時、ベトナム語を十分に理解できない子どもたちは学校の授業についていけず、中途退学につながっていました。また、言葉の壁は教育だけでなく、暮らしにも影響を与えていました。市場で不当な取引を受けることや、中国との国境に近い地域であることから、人身取引のリスクが高いことも課題の一つでした。ワールド・ビジョンは、就学前教育の充実やベトナム語学習の支援に取り組み、その結果、子どもたちは自信を持って学べるようになりました。言葉を身につけることは、学びの機会だけでなく、子どもたち自身と地域の未来を切りひらく力となっています。

皆さまとともに歩んだ 16 年間の支援と成果

準備期

2010 年度
▼
2011 年度

- ◎ 支援地域の課題やニーズを調査
- ◎ 少数民族の子どもたちの教育環境や言語の課題を把握
- ◎ 地方行政、地域住民との協力体制を構築
- ◎ 地方自治体および地域住民とともに、支援活動の実施計画を策定



支援開始当初の一般的な住居

第 1 期

2012 年度
▼
2015 年度

- ◎ 就学前教育を支援し、子どもたちの学びの基礎づくりを推進
- ◎ 少数民族の子どもたちを対象に、ベトナム語の習得を支援
- ◎ 子どもが主体的に学ぶ授業づくりを進め、教育の質を向上
- ◎ 読書活動や学校図書環境の整備を通じて、読解力の向上を支援
- ◎ 母親や保護者を対象に、子どもの栄養や健康に関する研修を実施
- ◎ 安全な水や衛生設備の整備を進め、感染症予防を推進
- ◎ 地域の保健医療従事者への研修を通じて、保健サービスを強化
- ◎ 子どもの成長モニタリングや栄養指導を実施



支援で提供された本を読む子どもたち

第 2 期

2016 年度
▼
2020 年度

- ◎ 子どもクラブを通じて、子どもの参加とライフ・スキル向上を支援
- ◎ 子どもの権利や保護に関する研修を実施し、安全な地域づくりを推進
- ◎ 早婚や子どもへの虐待の予防に向けた啓発活動を実施
- ◎ 保護者向け研修を通じて、前向きな子育てを推進
- ◎ 若者を対象とした職業訓練を実施
- ◎ 地域の子どもの保護体制を整備し、支援が必要な子どもの見守りを強化
- ◎ 子どもフォーラムを開催し、子どもの声を地域づくりに反映
- ◎ 新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、子どもと家庭の生活を支援



子どもの虐待と早婚に関する啓発活動

第 3 期

2021 年度
▼
2026 年度

- ◎ 貯蓄グループの活動を通じて、家庭の収入向上と家計管理を支援
- ◎ 超貧困世帯への生計支援を行い、持続的な自立を後押し
- ◎ 家畜飼育や農業技術の研修を実施し、生産性向上を支援
- ◎ 子どもたちが地域課題の解決を提案する活動を推進
- ◎ 防災組織の育成を通じて、災害に強い地域づくりを推進
- ◎ 地域住民の団体や行政への活動の引き継ぎを進め、成果の継続に向けた体制を整備



地域課題の解決に向け、自分たちの意見を発信した子どもたち

支援を受けたチャイルドのストーリー

自信がくれた、新しい一歩。 自分の思いを伝える勇気が、未来への力に

トウイちゃん

中学生のトウイちゃんは、以前はとても内気な女の子でした。人前で話すことが苦手で、勉強や日常生活で困ったことがあっても、一人で抱え込み、友達や周囲のおとなに相談することもできませんでした。

そんなトウイちゃんが変わるきっかけとなったのが、ワールド・ビジョンの支援で行われている子どもクラブへの参加でした。クラブでは、自分の気持ちと向き合う方法や、友達との良い関係の築き方、困難に直面したときの対処法などを学びました。また、仲間との活動を通じて、自分の考えを伝える力や協力する大切さも身につけていきました。

活動を通じて、トウイちゃんは両親との関係もより良くなったと感じています。以前は自分の気持ちをうまく伝えられませんでした。今は家族と話す機会が増え、自分の考えを聞いてもらえるようになりました。自信がついたことで、学校や地域の活動でも意見を伝えられるようになりました。

「たとえ小さなことでも、声を上げることで自分たちが地域の役に立てるのだと実感しています」。そう話すトウイちゃんはいま、子どもクラブの活動に積極的に参加しながら、自分だけでなく周りの友達も励ます存在へと成長しています。その変化は、子どもたちが自信を持ち、自ら未来を切り開く力を育てていることを示しています。



子どもクラブの活動で、自分の考えを発表するトウイちゃん(左から2人目)